安全データシート（ＳＤＳ）

1.化学品及び会社情報

昭　和　化　学　株　式　会　社
東京都中央区日本橋本町４－３－８
担当
TEL(03)3270-2701
FAX(03)3270-2720
緊急連絡　　同　上
改訂日　　2024/11/12
SDS整理番号　74906736

製品等のコード　：　7490-6736

製品等の名称　　：　インジウム片状

推奨用途　　：　試薬

参考：その他の用途(当該製品規格に限定されない一般的用途。規格により用途は相違。)
銀ロウ、ハンダ、低融点合金、電極用、防食アルミニウム など

使用上の制限　　：　推奨用途以外の用途へ使用する場合は化学物質専門家等の判断を仰ぐこと

In

2. 危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

物理化学的危険性
水反応可燃性化学品　　：　区分に該当しない

健康に対する有害性
急性毒性（経口）　　：　区分に該当しない　〔区分5(国連GHS分類)〕

シンボル、絵表示　：　該当なし

注意喚起語　　：　警告

危険有害性情報
飲み込むと有害のおそれ（経口）

注意書き
【安全対策】
該当なし
【応急措置】
気分が悪い時は医師に連絡すること。
【保管】
容器を密閉して保管すること。
【廃棄】
内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

（注）物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性に関し、上記以外の項目は、現時点で「区分に該当しない(分類対象外も該当)」又は「分類できない」である。

3.組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別　：　化学物質
化学名　　：　インジウム片状
（英名）Indium chip、
Indium（EC名称、TSCA名称）
成分及び含有量　　：　インジウム、　99.999%以上

化学式及び構造式	：	In、　構造式は上図参照(1ページ目)。
分子量	：	114.82
官報公示整理番号 化審法	：	元素のため対象外（適用外）
安衛法	：	元素のため既存化学物質
CAS No.	：	7440-74-6
EC No.	：	231-180-0
危険有害物質	：	インジウム

4. 応急措置

吸入した場合　：呼吸が困難になった時は、新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
気分が悪い時は、医師の治療を受ける。

皮膚に付着した場合　：皮膚を多量の水と石鹸で洗う。
皮膚刺激などが生じた時は医師の手当を受ける。

目に入った場合　：直ちに、流水で15分以上注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合には外して洗うこと。洗浄を続ける。
まぶたを親指と人さし指で拡げ眼を全方向に動かし、眼球、まぶたの隅々まで水がよく行き渡るように洗浄する。
眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、治療を受ける。

飲み込んだ場合　：口をすすぎ、うがいをする。
大量の水を飲ませ、指を喉に差し込んで吐かせる。
意識がない時は、何も与えない。
気分が悪い時は、医師の診断、治療を受ける。

予想される急性症状及び遅発性症状：

吸入	；咳、息切れ、咽頭痛
皮膚	；情報なし
眼	：発赤、痛み
経口摂取	：吐き気、嘔吐

5.火災時の措置

適切な消火剤　：本製品は不燃性である。全ての消火剤が使用可能である。
周辺火災に応じた消火剤を使用する。
粉末、二酸化炭素、泡、水噴霧、乾燥砂、乾燥珪藻土、金属火災用消火剤

使ってはならない消火剤：情報なし

特有の危険有害性　：火災中に刺激性又は毒性のヒュームを発生する可能性がある。

特有の消火方法　：危険でなければ火災区域から容器を移動する。
火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。

消火を行う者の保護　：有毒ガス等の接触を避けるため、消火作業の際は風上から行い、空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
：漏洩区域は、関係者以外の立入りを禁止する。
漏洩エリア内に立入る時は、保護具を着用する。
風上から作業し、粉じんなどを吸入しない。
粉じんが飛散する場合は、水噴霧し飛散を抑える。
密閉された場所に立入る時は、事前に換気する。

環境に対する注意事項　：河川、下水道、土壌に排出されないように注意する。

回収、中和　：漏洩物を掃き集め、密閉できる空容器に回収する。
漏洩物が飛散する場合は、水を散布し湿らしてから回収する。
回収した漏洩物は、後で産業廃棄物として適正に処分廃棄する。
後処理として、漏洩場所は大量の水を用いて洗い流す。

封じ込め及び浄化の方法・機材
：危険でなければ漏れを止める。

二次災害の防止策　：事故の拡大防止を図るため、必要に応じて関係機関に通報する。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
床面に残るとすべる危険性があるため、こまめに処理する。

7.取扱いおよび保管上の注意

取扱い

技術的対策　：本製品を取扱う場合、必ず保護具を着用する。
粉じんの堆積を防ぐ。
粉じんの発生を防止する。

局所排気・全体換気　：換気装置を設置し、局所排気又は全体換気を行なう。

安全取扱い注意事項　：すべての安全注意を読み理解するまで取扱わない。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。
取扱い後はよく手を洗う。
接触回避　：　湿気、水、高温体との接触を避ける。
保管
技術的対策　：　保管場所は耐火構造とする。
保管場所は、採光と換気装置を設置する。
保管条件　：　容器を密閉して保管する。
混触危険物質、食料、飼料から離して保管する。
混触危険物質　：　強酸化剤、強酸、イオウ
容器包装材料　：　ポリエチレン、プリプロピレン、ガラスなど

8.ばく露防止及び保護措置

管理濃度　：　未設定
許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）：
日本産衛学会　生物学的許容値　3μｇ/Ｌ
ACGIH　TLV-TWA 0.1mg/m3
設備対策　：　この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置する。
取扱場所には局所排気又は全体換気装置を設置する。
保護具
呼吸器の保護具　：　呼吸器保護具（防じんマスク）を着用する。
手の保護具　：　保護手袋（塩ビ製、ニトリル製など）を着用する。
眼の保護具　：　保護眼鏡（普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）を着用する。
皮膚及び身体の保護具：　長袖作業衣を着用する。
必要に応じて保護面、保護長靴を着用する。
衛生対策　：　この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。
取扱い後はよく手を洗う。

9.物理的及び化学的性質

物理状態
性状　：　片状（板状）。手の爪で傷つけられる程度に柔らかい。
色　：　白～銀白色
臭い　：　無臭
pH　：　データなし
融点　：　156 ℃
凝固点　：　データなし
沸点　：　2080℃
引火点　：　データなし
可燃性　：　データなし
爆発範囲　：　データなし
蒸気圧　：　データなし
相対ガス密度（空気 = 1）：　データなし
密度又は相対密度　：　7.3 g/cm3
比重　：　データなし
溶解度　：　水に溶けない。
王水、塩酸、硝酸に溶ける。アルカリに溶けない。
エタノール、トルエン、ベンゼンに溶けない。
オクタノール/水分配係数　：　データなし
発火点　：　データなし
分解温度　：　データなし
粘度　：　データなし
動粘度　：　データなし
粒子特性　：　データなし

ＧＨＳ分類
水反応可燃性化学品　：　水に不溶（ICSC (2001)）との観察結果があり、水と激しく反応することはないと考えられることから、区分に該当しないとした。

10.安定性及び反応性

安定性（反応性・化学的安定性）
：　通常の取扱条件において安定である。
危険有害反応可能性　：　強酸化剤、強酸、イオウと激しく反応し、火災や爆発の危険性がある。
粉末や顆粒状で空気と混合すると、粉塵爆発の可能性がある。
避けるべき条件　：　日光、高熱
混触危険物質　：　強酸化剤、強酸、イオウ
危険有害な分解生成物：　火災等で加熱されると、有害性のあるフュームを発生するおそれがある。

11.有害性情報

急性毒性　：経口 ラット　LD50> 2,000 mg/kg、LD50＝4200mg/kg、（PATTY(6th, 2012)）
区分５とした（国連GHS分類）。
ただし、分類JISでは区分に該当しないである。
飲み込むと有害のおそれ（経口）（区分5）
経皮 分類できない。
吸入（蒸気）　分類できない。
吸入（粉じん）分類できない。
皮膚腐食性/刺激性　：分類できない。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：分類できない。
呼吸器感作性又は皮膚感作性：呼吸器感作性：分類できない。
皮膚感作性：分類できない。
生殖細胞変異原性：分類できない。
発がん性　：分類できない。
知見データがなく、産衛学会やIARC、ACGIH、NTP、EPA、OHSAの国際評価機関の報告がないため、分類できない。
生殖毒性　：分類できない。
特定標的臓器毒性
（単回ばく露）：分類できない。
特定標的臓器毒性
（反復ばく露）：分類できない。
実験動物において経口経路での28日間反復投与毒性試験が実施されているが1,000 mg/kg/dayの用量においても毒性影響はみられていない（環境省リスク評価第11巻（2013））。
吸入経路での情報は得られていない。
なお、本物質ではないが、ヒトにおいて、インジウム・スズ化合物、酸化インジウムの吸入による間質性肺炎の報告がある（環境省リスク評価第11巻(2013)、産衛学会許容濃度の提案理由書（2007)、産衛誌，55巻（2013））。
誤えん有害性　：分類できない。

12.環境影響情報

生態毒性
水生環境有害性 短期(急性)：分類できない。
水生環境有害性 長期(慢性)：分類できない。
残留性・分解性　：データなし
生物蓄積性　：データなし
土壌中の移動性　：データなし
オゾン層への有害性　：本品はモントリオール議定書の附属書にリストアップされていないため、分類できないとした。

13.廃棄上の注意

残余廃棄物　：関連法規ならびに地方自治体の基準に従って廃棄する。
都道府県知事などの許可（収集運搬業許可、処分業許可）を受けた産業廃棄物処理業者に、産業廃棄物管理票（マニフェスト）を交付して廃棄物処理を委託する。
廃棄物の処理にあたっては、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。
本製品を含む廃液及び洗浄排水を直接河川等に排出したり、そのまま埋め立てたり投棄することは避ける。
（参考）リサイクル法
金属としてリサイクルする。
汚染容器及び包装　：内容物により汚染された容器及び包装材は、関連法規の基準に従って適切に処分する。
空容器を廃棄する場合は、内容物を除去した後、産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

14.輸送上の注意

国内規制（適用法令）
陸上規制　：特段の規制なし（非危険物）
海上規制　：特段の規制なし（非危険物）
航空規制　：特段の規制なし（非危険物）
国連番号　：非該当
国連分類　：非該当
品　　名　：非該当
海洋汚染物質　：非該当
MARPOL73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送の有害液体物質の汚染分類
：非該当

特別の安全対策　：輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
重量物を上積みしない。
必要に応じ移送時にイエローカードを運搬人に保持させる。

15.適用法令

労働安全衛生法　：名称等を通知すべき危険物及び有害物
（政令番号 第58号「インジウム及びその化合物」、
対象重量%は≧１）
（令別表第9）
なお、本品は粉状ではないため、表示対象物からは除外される。
（注）令和7年4月1日以降、政令番号：令別表第9の第7号に変更

なお、令和6年4月1日施行、令和7年4月1日及び令和8年4月1日施行予定の表示・通知対象物の追加物質にも非該当
（法第57条、法第57条の2）
また、皮膚等障害化学物質およびがん原性物質にも非該当
（安衛則第594条の2、安衛則第577条の2）

消防法　：非該当
毒物及び劇物取締法　：非該当
化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）
：・分　　類　「第1種指定化学物質」
・政令番号　「1-62」
・管理番号　「44」
・政令名称　「インジウム及びその化合物」
船舶安全法　：非該当
航空法　：非該当
海洋汚染防止法　：非該当
大気汚染防止法　：有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質（中環審第９次答申の２１）
「インジウム及びその化合物」
輸出貿易管理令　：キャッチオール規制（別表第1の16項）
HSコード：8112.92
第81類 その他の卑金属
・輸出統計番号（2024年1月版）：8112.92-000
「ベリリウム、クロム、ゲルマニウム、バナジウム、ガリウム、ハフニウム、インジウム、ニオブ、レニウム及びタリウム（くずを含む。）並びにこれらの製品（くずを含む。）
－その他のもの：塊、くず及び粉」
・輸入統計番号（2024年4月1日版）：8112.92-100
「ベリリウム、クロム、ゲルマニウム、バナジウム、ガリウム、ハフニウム、インジウム、ニオブ、レニウム及びタリウム（くずを含む。）並びにこれらの製品（くずを含む。）
－その他のもの：塊、くず及び粉
－1 インジウムのもの」

16.その他の情報

（注）本品を試験研究用以外には使用しないで下さい。

参考文献　：

化学物質管理促進法PRTR･MSDS対象物質全データ	化学工業日報社
労働安全衛生法MSDS対象物質全データ	化学工業日報社(2007)
化学物質の危険･有害便覧	中央労働災害防止協会編
化学大辞典	共同出版
安衛法化学物質	化学工業日報社
産業中毒便覧(増補版)	医歯薬出版
化学物質安全性データブック	オーム社
公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編)	三共出版
化学物質の危険・有害性便覧	労働省安全衛生部監修
Registry of Toxic Effects of Chemical Substances NIOSH CD-ROM	
GHS分類結果データベース	nite (独立行政法人　製品評価技術基盤機構) HP
GHSモデルMSDS情報	中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター HP

このデータは作成の時点においての知見によるものですが、必ずしも十分ではありませんし、何ら保証をなすものではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。なお、この安全データシート(SDS)はJIS Z 7253:2019に準じ作成しています。